

ワークショップ9

「消化管における鏡視下・ロボット手術の最前線」

司会 奥田 準二（大阪医科大学附属病院がん医療総合センター
先端医療開発部門（消化器外科/大腸がん））
土岐 祐一郎（大阪大学消化器外科）

近年、内視鏡外科手術の普及により消化管手術において進行癌を含めて鏡視下手術が主流となってきた。また、2018年4月からは食道・胃や直腸の切除においてロボット手術の保険適用が開始された。これまでの経験と治療成績をもとに各施設の消化管疾患に対する最新のストラテジーと手技を示していただき、現状と問題点を明らかにし、管腔内視鏡治療との接点や協調なども含めた将来展望について討論したい。